

## 1. 大学院について

Q1：大学院で学ぶとは？

A1：当大学院、看護学の基礎教育を基盤として、看護学をより深く探究し、科学的思考力と研究の手法を修得して看護研究を遂行する能力の開発を行うとともに、地域の多様な保健医療ニーズに適切に対応することのできる高度な看護実践能力の開発を図ることを通して、看護の質の向上に寄与できる人材を育成することを目的としています。修了時には、修士（看護学）の学位が授与されます。

Q2：取得できる資格はありますか？

A2：修士論文コースは、師長以上の職位で管理経験が3年以上ある者が看護管理に関連する学問領域の修士以上の学位を取得することで、認定看護管理者の受験資格が得られ合格すると認定看護管理者となります。（2022年度より一部改正）

## 2. 出願資格

Q3：大学でなく専門学校の卒業ですが、出願資格はありますか？

A3：専門学校卒業後、看護師の免許証を有し、入学時に3年以上の実務経験を有する者で、出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において承認されれば出願資格があります。詳しくは修士課程大学院生募集要項の「出願資格審査申請手続き」を確認してください。

## 3. 大学院と仕事の両立

Q4：働きながら学べますか？

A4：佐久大学に通学できる距離に住居があれば可能です。進学を検討する際に、職場の上司と良く相談することを勧めます。

佐久大学大学院では長期履修制度を設けており、2年間の学費で最大4年間かけて学ぶことができます。開講日は原則として週2日間(火・木曜日)で、一部の講義は祝日などに追加のこともあります。

修士課程の所定の単位履修要件は、30単位以上を習得することが必要となります。科目等履修生制度があり、大学院に入学する前に15単位を限度として事前に修得することができます。詳しくは大学院科目等履修生募集要項をご確認ください。

Q5：働きながら2年間で修了するのは難しいでしょうか？

A5：所属先との調整が必要になりますが、2年間で修了している大学院生もいます。3年から4年かけて修了する大学院生もいます。

Q6：週2日間の授業に出席するのは難しいのですが、週1日の出席でも大丈夫ですか？

A6：長期履修生制度などを利用することで可能です。

#### 4. 授業・論文

Q7：授業はどのように行われていますか？

A7：興味あるテーマや授業の内容について、学生自ら調べた内容についてプレゼンテーションを行い、討議することが特徴です。資料や文献、討議を通して自ら学びます。また、研究論文のクリティークを行い、その領域の状況を理解し、研究方法や論文のまとめ方を習得し、自分の研究課題を明らかにします。そして修士論文を作成します。

Q8：大学院生はどのように学修されていますか？

A8：研究室には学生ごとに専用のノートパソコンを1台備えています。授業のない時間には研究室で、各自資料や文献を読み、情報交換などを行っています。研究室は全日（土日祝日を含む）8：30～22：00に使用が可能のため授業のない日に登校して研究論文を作成することもできます。

Q9：授業の時間帯はどのようになっていますか？

A9：平日の授業時間は以下のとおりで、概ね1時限～5時限までの授業がほとんどです。

時限	時間	時限	時間
1時限	9：00～10：30	3時限	13：00～14：30
2時限	10：40～12：10	4時限	14：40～16：10
		5時限	16：20～17：50
		6時限	18：00～19：30
		7時限	19：40～21：10

土曜における授業、あるいは夏期・冬期に集中授業を行う場合があります。

1回あたりの授業は90分ですが、これを2時間として計算しているため、自学自習（授業科目の予習及び復習）を行うことが必要となります

Q10：研究論文はどの程度のレベルまで求められますか？

A10：専攻分野で自分の関心テーマの範囲を絞りこんで、看護専門職者としての研究を遂行するための能力を養います。

Q11：英語で論文を読む機会は多いですか？

A11：日本語の論文だけでも十分に学修できる可能性があります。

Q12：認定看護師ですが、既修得単位として認められますか？

A12：既修得単位の認定は、他の大学院で修得した単位に限られます。したがって、認定看護師の教育課程での学修は既修得単位としては認められません。

Q13：大学院を修了していますが、既修得単位は認められますか？

A13：本大学院に入学前に他の大学院において履修した単位がある場合、入学時に既修得科目の書類を提出し、審査を受けます。既修得単位として15単位を超えない範囲で認定が可能です。

## 5. 修了後の活動

Q14：修了後はどのように活動されていますか？

A14：職場での教育担当者や研究指導者、看護基礎教育機関の教員等様々な場所で活躍しています。

## 6. 出願の手続き

Q15：「成績証明書」とは最終学歴のものですか？

A15：看護師の基礎教育機関(看護系大学/看護系短期大学/看護専門学校)の成績証明書を提出してください。

Q16：転職しており、在職期間証明書を取りよせるのが困難です。

A16：在職していたことや在職時期がわかる資料(例えば氏名・所属・開催時期が記された学会発表時の抄録、厚生年金の加入記録など)を代用してください。

Q17：出願前の研究科長との面談は必須ですか？

A17：受験することが決まったら入試広報課に連絡してください。研究科長との面談予定について、調整いたします。

Q18：小論文、専門試験、面接はどのように評価されますか？

A18：小論文・専門試験の得点と面接、書類審査で総合的に評価します。

Q19：専門学校を卒業した認定看護師ですが、出願資格審査は必要ですか？

A19：保健師、助産師、認定看護師等の資格を有する場合は出願資格審査が免除されます。  
詳しくは修士課程大学院生募集要項の「出願資格審査申請手続き」を確認してください。

Q20：入試にあたり研究計画書は必要ですか？

A20：研究計画書は必要ありませんが、どのような研究をするのか自分の関心のテーマを考えておくことを勧めます。

Q21：出願は推薦でないとだめですか？

A21：一般入試でも受験できます。

## 7. 奨学金

Q22：利用できる奨学金制度はありますか？

A22：奨学金制度があります。佐久大学のホームページの大学院看護学研究科の奨学金のページや、大学院進学相談会等で確認してください。

